

株主様ご優待制度

1. 株主様ご優待の方法

毎年3月31日現在の株主の皆様に対し、以下の基準により静岡県袋井市において、例年8月開催の「ふくろい遠州の花火」指定席入場券または、郷土の産品「クラウンマスクメロン」を贈呈いたします。

- (1) 贈呈基準 当社株式を1,000株（1単元）以上ご所有の株主様に対し、そのご所有株式数に応じ、下記優待品の中から株主様ご希望の1点を贈呈いたします。

- (A) 1,000株以上1,999株までご所有の株主様

ご優待品		数量
	郷土の産品「クラウンマスクメロン」	2個

- (B) 2,000株以上4,999株までご所有の株主様

ご優待品		数量
	「ふくろい遠州の花火」指定席入場券	2枚
	郷土の産品「クラウンマスクメロン」	3個

- (C) 5,000株以上ご所有の株主様

ご優待品		数量
	「ふくろい遠州の花火」指定席入場券	4枚
	郷土の産品「クラウンマスクメロン」	4個

- (2) 贈呈方法 「ふくろい遠州の花火」指定席入場券を贈呈する株主様には、8月開催日までに入場券をご送付いたします。

開催日当日、現地会場にてご利用ください。

(指定席入場券は当該年度の開催日当日使用に限り有効です。)

郷土の産品「クラウンマスクメロン」を贈呈する株主様には、順次現品をご送付いたします。

本年（平成15年）の「ふくろい遠州の花火」開催日は8月9日（土）[雨天翌日]です。

2. その他

贈呈品の選択（(B) (C)の株主様）につきましては、毎年6月、各株主様にご希望をおたずねいたします。なお、(A)の株主様には、自動的に郷土の産品「クラウンマスクメロン」をご送付いたします。

第38期 事業報告書

（平成14年4月1日から
平成15年3月31日まで）

株主メモ

決算期 3月31日
定時株主総会 毎年6月
基準日 3月31日
そのほか臨時に必要な場合には、あらかじめ公告いたします。

配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当を実施するときは9月30日
名義書換代理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
同取次所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店
みずほインバスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
郵便物送付先 (〒135 - 8722)

東京都江東区佐賀一丁目17番7号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話(03)5213 - 5213(代表)

公告掲載新聞 日本経済新聞

貸借対照表および損益計算書掲載のホームページアドレス

<http://www.enshu-truck.co.jp/koukoku/index.html>

 遠州トラック株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第38期（平成14年4月1日から平成15年3月31日まで）の事業の概要と決算についてご報告申し上げます。

平成15年6月



代表取締役社長
澤田 邦彦

営業の概況

(1) 営業の経過および成果

当期における我が国経済は、長期化する不況の中、民間設備投資の減退、失業者の増加、デフレに伴う消費意欲の低迷、また一段と加速する海外生産移管による空洞化等、厳しい状況で推移いたしました。

物流業界においても貨物取扱量が伸び悩み、既存顧客からの合理化要請への対応策、サードパーティロジスティクスによる元請け制および物流戦略商品の開発力により、明暗が分かれる生き残りをかけた時代となりました。

こうした中で、当社では輸送効率の見直し、倉庫充填率の向上、作業効率の改善によるコスト低減に努めてまいりました。また、既存荷主の貨物取扱量が減少する中、「ノンストック輸送」による新規荷主の獲得、川上での販売物流費の低減が限界とされ、商品価格と物流費を分離した川下への調達物流を志向し、引き取り、保管、荷役、システムと一貫自社体制による相乗効果の生み出しに加え、従来の工業物流と商業物流を融合させ大幅な稼働率向上を実現させた結果、営業収益は122億67百万円（前期比6.3%増）となりました。

利益面では、輸送効率、倉庫充填率の向上とコスト低減に努めたことにより営業利益は9億38百万円（前期比21.9%増）、経常利益は金利負担の軽減等も寄与して9億35百万円（前期比28.5%増）となりました。当期利益は4億83百万円（前期比26.6%増）となり、前期より大幅に回復し増収増益となりました。

(2) 部門別の状況

輸送部門の営業収益は83億31百万円（前期比7.3%増）となりましたが、取扱へのシフト、不採算車輛の見直し等効率化推進により自社輸送が35億25百万円（前期比1.8%増）、取扱が48億6百万円（前期比11.8%増）となりました。

倉庫部門では、倉庫充填率の向上と、大幅な稼働率の向上により36億52百万円（前期比5.4%増）となりました。

不動産部門においては、2億82百万円（前期比10.0%減）と低調に終わりました。

(3) 設備投資および資金調達の状況

当期の設備投資の総額は5億71百万円で、その主なものは東セロ株式会社様専用の静岡県浜北市の浜北倉庫の土地建物の取得および車輛運搬具の老朽化による更新と排ガス規制による環境問題に備えた車輛の取得であります。

当期の設備資金は、主に自己資金によるほか借入金をもって賄いました。

(4) 自己株式の取得等の状況

取得株式

取得事由	種類	数量	取得価額の総額
単元未満株式の買取りによる取得	普通株式	8,510株	5,863千円
商法第210条の規定に基づく取得	普通株式	166,000株	114,133千円

処分株式

種類	数量	処分価額の総額
普通株式	-株	-千円

失効手続した株式

種類	数量
普通株式	-株

当期末保有株式

種類	数量
普通株式	175,824株

(5) 会社に対処すべき課題

当社は、物流環境の厳しい状況下、常に顧客の物流ニーズに応えるべく、営業拡販・原価の低減により内部体質の強化を図り、収益の向上を推進してまいります。

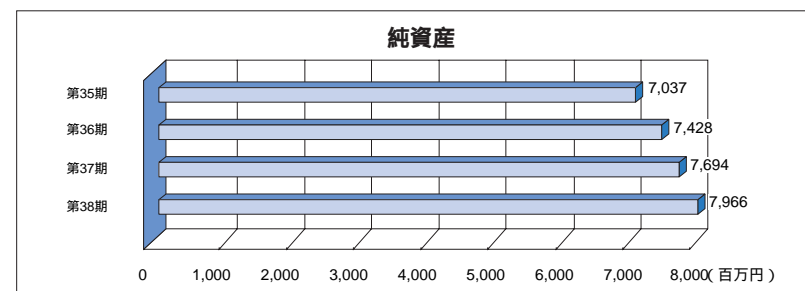
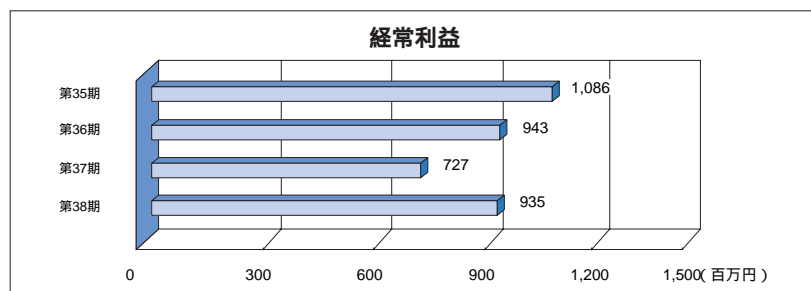
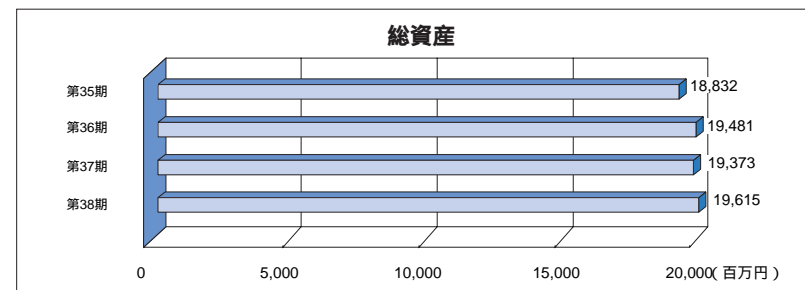
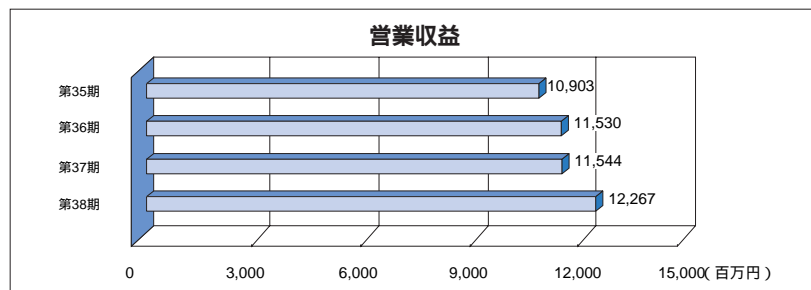
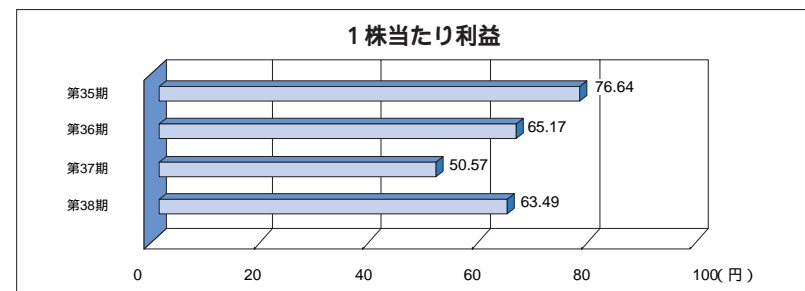
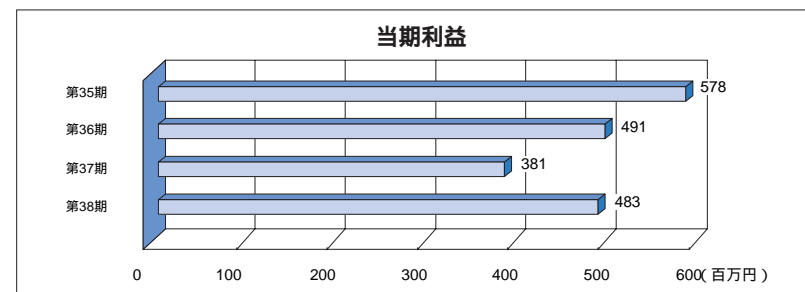
営業力の強化、徹底した効率化の追求、標準化による品質の向上、環境問題への対応等々の課題に真剣に取り組む、顧客満足度の向上に努めてまいります。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

業績および財産の状況の推移

項目	期別	第35期	第36期	第37期	第38期
		平成11年4月～ 平成12年3月	平成12年4月～ 平成13年3月	平成13年4月～ 平成14年3月	平成14年4月～ 平成15年3月
営業収益(千円)		10,903,647	11,530,258	11,544,854	12,267,347
経常利益(千円)		1,086,810	943,995	727,594	935,238
当期利益(千円)		578,323	491,776	381,611	483,094
1株当たり当期利益(円)		76.64	65.17	50.57	63.49
総資産(千円)		18,832,964	19,481,482	19,373,679	19,615,306
純資産(千円)		7,037,023	7,428,183	7,694,052	7,966,647

(注) 1株当たり当期利益は、期中平均発行済株式総数に基づいて算出しております。
 なお、会計基準の変更により、第38期より期中平均発行済株式総数から期中平均自己株式数を控除した株式数を用いて算定し、利益処分による役員賞与金等を控除して算出しております。



貸借対照表

(平成15年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	3,574,337	流動負債	5,941,550
現金及び預金	589,522	支払手形	221,491
受取手形	321,248	営業未払金	855,349
営業未収金	1,683,509	短期借入金	2,600,000
販売用不動産	196,339	1年内返済長期借入金	1,485,276
仕掛不動産	513,077	未払金	63,497
貯蔵品	7,950	未払法人税等	299,552
前払費用	116,492	未払消費税等	55,809
繰延税金資産	56,142	未払費用	71,776
その他流動資産	92,146	預り金	7,042
貸倒引当金	2,093	賞与引当金	77,800
固定資産	16,040,969	設備支払手形	149,147
有形固定資産	14,673,655	その他流動負債	54,807
建築物	5,022,966	固定負債	5,707,109
構築物	262,612	社債	500,000
機械装置	4,452	長期借入金	4,952,818
車輛運搬具	388,834	退職給付引当金	89,730
工具器具備品	39,728	長期預り保証金	148,994
土地	8,954,559	その他固定負債	15,566
建設仮勘定	501		
無形固定資産	265,676	負債合計	11,648,659
借地権	140,617		
電話加入権	23,361	資本の部	
施設利用権	9,492	資本金	1,284,300
ソフトウェア	55,326	資本剰余金	1,070,810
その他無形固定資産	36,879	資本準備金	1,070,810
投資等	1,101,637	利益剰余金	5,717,545
投資有価証券	344,392	利益準備金	90,818
会社株式	109,700	任意積立金	4,998,954
出資	5,030	別途積立金	4,998,954
長期貸付金	8,289	当期末処分利益	627,772
長期前払費用	19,825	(うち当期利益)	(483,094)
敷金保証金	270,211	株式等評価差額金	14,759
保険積立金	182,123	自己株式	120,768
繰延税金資産	49,757		
その他投資	112,885	資本合計	7,966,647
貸倒引当金	577		
資産合計	19,615,306	負債及び資本合計	19,615,306

(注)(1)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(2)有形固定資産の減価償却累計額

5,182,854千円

(3)担保に供している資産

10,298,409千円

(4)受取手形割引高

254,101千円

(5)1株当たり当期利益

63円49銭

(6)商法第290条第1項第6号に規定する増加純資産額

14,759千円

(7)商法施行規則(平成14年法務省令第22号)の施行により当期からの資本の部の表示方法を変更しております。

損益計算書

(平成14年4月1日から
平成15年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目		金 額	
		内 訳	合 計
経常 損益 の 部	営業収益		12,267,347
	営業費用		11,328,556
	営業原価	10,727,554	
	不動産原価	206,882	
	販売費及び一般管理費	394,120	
	営業利益		938,791
	営業外収益		115,289
	受取利息・配当金	12,405	
	受取保険配当金	64,755	
	その他	38,129	
営業外費用		118,843	
支払利息	81,588		
その他	37,254		
経常利益		935,238	
特別 損益 の 部	特別利益		2,162
	固定資産売却益	262	
	貸倒引当金戻入	1,900	
	特別損失		24,867
	固定資産除却及び売却損	5,408	
投資有価証券評価損	18,458		
会員権評価損	1,000		
税引前当期利益			912,532
法人税、住民税及び事業税			480,768
法人税等調整額			51,329
当期利益			483,094
前期繰越利益			193,303
中間配当額			48,625
当期末処分利益			627,772

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

利益処分

(単位:円)

科 目	金 額
当 期 未 処 分 利 益 これを次のとおり処分いたします。	627,772,164
利 益 配 当 金 (1 株 に つ き 6 円50銭)	47,906,144
役 員 賞 与 金 (う ち 監 査 役 賞 与 金)	9,000,000 (1,000,000)
別 途 積 立 金	350,000,000
次 期 繰 越 利 益	220,866,020

(注)平成14年12月9日に48,625,564円(1株につき6円50銭)の中間配当を実施いたしました。

役員 (平成15年3月31日現在)

(代表取締役) 取締役 会長	豊 田 順 介
(代表取締役) 取締役 社長	澤 田 邦 彦
専務取締役	神 谷 修 義
常務取締役	寺 田 佳 史
取締役	木 下 昭 二
取締役	寺 田 正 彦
取締役	池 谷 功
取締役	豊 田 重 雄
取締役	落 合 岐 良
取締役	筒 井 昭
常勤監査役	尾 崎 勇
監査役	上 原 貞 夫
監査役	久 保 田 義 一

(注) 1. 取締役の筒井 昭氏は、商法第188条第2項第7号ノ2に定める社外取締役であります。
2. 監査役の上原貞夫、久保田義一両氏は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

会社の概要 (平成15年3月31日現在)

設 立	昭和40年8月
資 本 金	1,284,300,000円
本社及び主要な事業所	本 社 静岡県袋井市木原627番地の3 横 浜 事 業 所 神奈川県川崎市 西 部 事 業 部 静岡県浜松市 関 東 事 業 部 埼玉県春日部市 不 動 産 事 業 部 静岡県袋井市

従 業 員 の 状 況 509名

株式の状況 (平成15年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数	17,600,000株
発行済株式の総数	7,546,000株
株 主 の 総 数	805名
大 株 主	

株 主 名	持 株 数	議 決 権 比 率	当社の当該株主への出資状況	
			持 株 数	議 決 権 比 率
有限会社スリーナイン	1,900,730株	26.07%	- 株	- %
豊 田 順 介	1,500,180株	20.58%	-	-
豊 田 慶 造	332,120株	4.55%	-	-
豊 田 弘 子	251,360株	3.44%	-	-
遠州トラック従業員持株会	215,954株	2.95%	-	-
株 式 会 社 袋 井 倉 庫	212,150株	2.90%	-	-
澤 田 邦 彦	190,000株	2.60%	-	-
商 工 組 合 中 央 金 庫	169,400株	2.31%	-	-
株 式 会 社 三 井 住 友 銀 行	121,000株	1.66%	-	-
豊 田 重 雄	115,927株	1.57%	-	-

(注) 当社は自己株式175,824株を保有しております。

会社の近況

群馬太田物流センター



本年4月より本格稼働しました当センターは、ホームセンター最大手「カインズ」社の東南アジア方面からの海外調達センターで、鉄筋2階建て総床面積約17,000㎡（5,200坪）の規模を誇ります。業務は40フィートコンテナが月間平均300本入荷し、入荷された輸入貨物は全国140店舗からの注文により、店舗別に荷揃いされた後、矢板（栃木県）、伊勢崎（群馬県）、東海（当社袋井市の木原倉庫）の各センターへ向け出荷されます。また当センターより約5分の至近地にある、内陸通関が認可された保税區を持つ「太田国際ターミナル」を利用することにより、荷主に対し免税効果も供与できるといった特徴があります。

浜北倉庫



本年4月より稼働した総床面積1,650㎡（500坪）の当倉庫は、保管効率を高めるため、最大1,764パレット（一般倉庫の約200%の保管率）保管可能な自動ラックを導入したもので、現在はセロファン業界大手の「東セロ」社の商品を保管しております。

また、所在地は現在建設中の第2東名高速道路浜北インターチェンジに至近な好立地にあり、物流センターとして今後も高い稼働率が見込まれます。

富士営業所



旧大昭和製紙関連の物流会社が管理していた約15,000㎡（4,500坪）の倉庫を、この度購入取得し本年4月より業務をスタートさせました。

静岡県は東西に長く広がり、本社拠点を置く袋井市からでは東部地域までの配送を網羅するのは困難であったため、かねがね東部地区に拠点を計画していたところ、縁あって設置することができました。当倉庫（営業所）は、国道一号線に面しており道路のアクセスも好立地な場所に位置し、今後に期待ができるものと確信しております。

愛知東海物流センター



本年未完成予定で、建設計画中にある愛知東海物流センター（愛知県東海市）は、建設予定の第2東名高速道路東海インターチェンジに隣接し、また新設される常滑市の「中部国際空港」に15km、名古屋港まで5kmの至近な位置にあり物流アクセスとしては最適地にあります。当センターは、中京地区で小牧倉庫に次ぐ当社として2番目の拠点となるもので、総敷地面積15,000㎡に2階建て総床面積15,000㎡（4,500坪）の建物を予定しております。

春日部事業部大道倉庫増設



本年未完成予定で既存建物に併設して、鉄骨2階建て総床面積約2,980㎡（900坪）の倉庫（事務所含む）の増設を予定しております。当倉庫の完成後は、現在桶川市にある賃借倉庫を廃止統合し、総床面積約6,200㎡（1,900坪）の規模となり、関東地区における「ノンストック輸送」の拠点として、拡大を見込んでおります。

埼玉蓮田物流センター



本年9月末完成予定で進めている蓮田物流センター（埼玉県蓮田市）は、荷主である「積水化学工業、武蔵工場」の隣接地に、鉄骨2階建て総床面積約4,200㎡（1,250坪）の倉庫を建設し、「積水化学工業」社の要請に応え、分散型配送を集約統合し倉庫の運営効率化を図るもので、当センターの稼働により当社としても収入増が見込まれます。